

# 藤枝・図書館友の会ニュース

<第21号・2014年11月発行>

2面/副市長の回答要旨 3面/本のリサイクル市・駅南図書館おはなし会  
4面/静岡友の会・県立中央図書館運営についての提言 5面/提言の資料抜粋  
6面/2015年総会記念講演会のお知らせ、資料・藤枝市立図書館の活動実績ほか

## 藤枝市立図書館・学校図書館の更なる充実を!

### 友の会の要望書で、山梨副市長と懇談しました

友の会が9月3日付け提出した要望書に基づく山梨副市長との話し合いが10月28日午後、市役所庁議室で行われ、会長など運営委員10名が出席しました。

成岡図書課長が同席しました。

友の会の要望事項について、山梨副市長から真摯で誠意ある回答がありました。

“前向きな回答”は、次のとおりです。

- ① 市立図書館は学校教育・社会教育・生涯教育等の拠点施設だから市の直営でなければならない。  
これは北村市政の基本姿勢。
- ② 現在14名の学校司書(非常勤)を、もう少し増やしたい。
- ③ 市立図書館の人員はまだ少ない。非常勤職員の年限(5年)は一部、延長の方向で考えたい。
- ④ 図書館協議会委員の公募制導入は、検討に恒すると思う。
- ⑤ 図書購入費の一定の水準は、今後も確保したい。……など。



山梨副市長(左)と成岡図書課長

話し合いの様子



懇談の中で、友の会から次のような意見を出しました。

(要望事項・副市長の回答要旨は2面へ記載)

#### 1. 学校図書館について

1. 国は2012年度からの5ヶ年計画で、学校図書館の本や新聞の費用として約1,000億円を投じている。有効に使うべきだ。
2. 小学校の標準蔵書数は例えば12学級で7960冊と決まっている。この基準で点検が必要。
3. 非常勤の学校司書が3年で契約が切れる。これでは継続的な図書館運営ができない。

#### 2. 図書館職員について

1. 館長は豊かな人格は勿論大事だが、広い視野で図書館行政を推進するためには司書資格が必要だ。
2. 臨時職員の給与が安すぎる。

#### 3. 図書館協議会について

どういう基準で人選されているのか疑問に感じる点がある。

#### 4. 地震対策について

書棚から本が飛び出ない処置など、簡単にできるはずだ。

#### 5. 協働関係について

1. 協働推進懇話会が10月9日に「新市民協働指針・行動計画書案」を市へ提出したが、どう評価しているのか。
2. 友の会は図書館との協働を積極的に進めようとしているが、近づくと思われながら逃げられる感じがしている。

#### 6. ボランティア活動について

図書館側が私たちに何を望むのか具体的に示してほしい。

<以下、2面の下部へ続く>

<1面からの続き>

友の会が提出した要望内容・山梨副市長の回答要旨を記しました。(文責 南雲初義)

友の会の要望、質問内容	山梨副市長の回答要旨
1. 市の文化政策、「教育日本一」施策の一環として図書館政策をどう位置付け、展開させていくのか。現在の状況と今後の改善点 ①図書館の位置づけ ②公共図書館、学校図書館(特に2014.6月学校図書館法改正に伴う施策)、公民館図書室等の更なる充実の施策は。	① 学校・社会・生涯教育の軸、拠点と考える。だから直営でなければならない。 ② 市の責任で一つ一つ解決していかなければならない。現在公立の小・中学校27校で14人の司書がいるが、(非常勤)出来るだけ法の趣旨に則り、増やしたい。
2. 図書館職員の人事の改善を図る為の見解 ①公共図書館独自の人事採用の追究は(特に館長は司書資格を所有する人を採用する工夫はないのか) ②正規職員の比率を増やす。同時に司書資格を持つ専門職員の比率を上げる事。 ③非正規、臨時職員の期間(現在5年)の延長	① 館長の司書資格は必要だと思うが、ただ資格だけあっても利用者への応対もできず人格的に欠陥があっては困る。資格がなくても、人材があれば採用したい。 ② 図書館の人員がまだ少ないと考えている。 ③ 期間5年の一部延長はやりたい。真面目な人は長く勤めてもらいたい。制限を一部外す方向で考えたい。
3. 市図書館協議会の一層の充実を図るための対策についての見解 ①委員の公募制の導入 ②協議会の内容の充実	公募は価値あることと思っている。
4. 公共図書館における地震対策の強化策についての見解	市内の公共施設のチェックを始めている。危険箇所のある古い施設から耐震対策を実施したい。
5. 一般会計に占める図書館関係費用の在り方についての見解 ①最低1%程度の確保(人件費を含む)が必要と思うがどうか。②図書館整備基金の今後の活用施策、図書購入費の一定水準の確保 ③駅南図書館10周年(2019年)に向けてのリニューアルの施策があるか	① 今年度は3億4356万9000円(0.77%)。1%の目安に乗せられるよう努力したい。 ② 基金は23年度で終了している。27年度で使い終わる状況にある。今後も3700万~4300万円のラインは確保したい。 ③ ソフト面の充実は図りたい。ハード面については、みなさんの意見を聞かせて欲しい。
6. その他 ①図書館友の会との協働関係 ②ボランティアの位置づけ等	友の会との協働は大切だと考えている。

副市長との話し合いで友の会が主張した内容(1面からの続き)

### 7. その他の事項

1. 図書館が市民の声、その対応を展示するようになった事は評価したい。回転を速く。
  2. 若者がより多く図書館を利用できる構想がほしい。  
例えばインテグレット・ライブラリー等。
  3. 藤枝の図書館が、他市からも羨まれるようなものになる模範的な工夫がほしい。
- (以上)



# 友の会「本のリサイクル市」、惜しまれつつファイナル!

< 2014年10月19日(日)・Bivi藤枝にて >

友の会発足(2009年)から毎年実施してきた第6回目のリサイクル市。いよいよ、ファイナルを迎えました。

当日は秋晴れの中、開店前から多くの方が足を運んでくださいました。お目当ての本を探し当てると、とても喜んでいらっしゃる様子を目にしました。

友の会のメンバーは6月から準備を始め、寄贈本の受付、設営、販売、片付けなど様々な活動を通じて市民の皆さまと触れ合えることをとても嬉しく思いました。

6年間で市民の皆さまから寄贈して頂いた本は累計16,350冊。本当に有難うございました。売上金・カンパは市立図書館へ新刊書購入資金として寄贈させていただきます。

「来年も本のリサイクル市をやってほしい。」

「どうしてファイナルなんですか?」と惜しむ声もありました。

駅南図書館オープンを機に発足した「藤枝・図書館友の会」は、市立図書館がもっと充実するために役立つことはないか模索する中でリサイクル市を一度、終了することとしました。

リサイクル市に際し、多くの友の会会員が準備・運営に協力してくれました。駅南図書館職員の方々には寄贈本の保管等で、Bivi藤枝の皆様には会場使用で、たいへんお世話になりました。本当に有難うございました。

リサイクル市は終了しますが、これからも、友の会の活動には引き続きご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

(友の会会員・谷尻 薫)



盛況だったリサイクル市風景

## 第1～5回までのデータ

- ◆市民の皆さまからの寄贈本数  
合計16,350冊
- ◆市立図書館への新刊書購入資金  
寄贈額(第1回～4回)  
合計¥258,440  
(売上金のうち第5回は保留中、  
第6回と合わせ検討中)
- ◆会場 Bivi藤枝1階フロア  
(第1回のみ隣接の空き店舗)

## <えきなんとしょかん おはなし会>に参加しました!

会員の皆さま・サークル所属の皆さま、絵本の読み語りしてみませんか!



駅南図書館が主催する「おはなし会」へ、担当職員の方から参加呼びかけがあり11月23日・30日の2回、友の会メンバーがお話を担当しました。

毎週土曜日・日曜日の午後2時からの30分間、駅南図書館の子どもコーナー奥「おはなしのへや」で実施されています。写真は23日の様子です。定刻前に子どもたちが前の方の席に座って始まりを待っていました。

友の会メンバー3名が交代で、事前に選んだ絵本でお話します。子どもたちは相槌を打ったり身を乗り出したりと、お話に集中していました。

友の会は会員の皆さまの協力をいただきながら、今後も担当していきたいと考えています。当面、次の日程が予定されています。「読み語り」にトライしてみませんか。

2015年1月17日(土)・31日(土)、2月1日(日)・21日(土)・22日(日)

3月21日(土)・28日(日)

協力していただける方、ご連絡お待ちしております。(友の会会員・鈴木由利子 ☎ 643-1915)

## 静岡県立中央図書館の運営についての提言

静岡図書館友の会

私たちは、静岡県立中央図書館の使命と目標は以下の通りと考えます。

- 1 県内の市町立図書館及び図書館職員と市町の図書館政策を支援することにより、すべての県民が豊かな図書館サービスを楽しむ環境作りに努める

市町立図書館は、直接来館した利用者へのサービスが基本ですが、県立図書館の場合、来館者はもとより、市町立図書館を支援することによって県民全体へのサービスを行うことが重要です。

県立図書館は、県内全域を見渡す視野を持ち、全域へのサービスを考えます。

- 2 地域資料をはじめとする資料全般の収集・保存に中核的な役割を果たし、長期的・全域的な資料保存のセンターとなる

県立図書館は、市町立図書館の支援をも視野に入れた資料の収集、保存が重要な役割となります。県立図書館がその役割を十分に果たすことによって、市町立図書館は貸出などの直接サービスに力を注げるのです。

- 3 県内公共図書館のネットワーク構築の要となり、全体としてより高度な図書館システムとして組織され、重層的なサービス活動ができる体制を作る

図書館サービスは、単館で行うのに比べ、ネットワーク化すれば効率が飛躍的に高まります。県立図書館は、市町立図書館や学校図書館などを網羅した全県的なネットワーク構築に中心的役割を果たすことで、県全体のサービスレベルを上げることができます。

- 4 図書館法の理念や「図書館の自由に関する宣言」の精神を尊重する活動を行い、県民に広く知らせ、図書館振興の先頭に立つ

図書館は住民の学習と自立を支援し、知的自由や知る権利を保障する基本的な社会インフラです。しかしそうした認識はまだまだ一般化しているとは言い難い状況にあります。

以上の「使命と目標」を実現するため、私たちは次の3点を提言いたします。

- I 県立図書館機能を発揮できる直営体制の維持と施設の充実
- II 県立図書館にふさわしい十分な資料費・運営費の確保
- III 専門性のある職員体制による継続的な運営

※ この「提言」は静岡図書館友の会が提唱、県下23団体が賛同して静岡県あて提出したものです。11月10日、静岡友の会代表者が県教委を訪れ安倍教育長へ提出しました。県教委から教育監、社会教育課長、教育課長補佐が同席したとのこと。私たちの会も賛同団体に名を連ねさせていただいたので、提唱団体の了解を得て紹介します。

“提言”の「使命と目標」を実現するための具体策（提言の付属資料）

	具体策	対応する使命と目標
①	市町立図書館のレファレンス業務の支援をすることが県立図書館の役割なので、市町立図書館では対応しきれない高度なレファレンスを扱えるよう、専門資料を集め、そうした資料に精通した専門司書を配置するなど、バックアップ体制を整える。	1
②	資料的価値はあるが、高価である・専門的すぎるなどの理由で市町立図書館が購入をためらう資料を積極的に収集し、市町立図書館の求めに応じて提供する。これによって、市町立図書館は資料提供の幅を広げることができ、結果として県内全域でのサービスが向上する。	1, 2
③	図書館新設・改築・再編や、資料費・人員削減への対応、図書館の自由にかかわる問題など、図書館政策・運営について、全国各地の事例やデータを集め、市町立図書館への課題解決支援を行う。	1, 4
④	地域資料の収集・保存（電子化を含む）は、国立国会図書館など他の図書館には依存できない静岡県固有の事業なので、特に力を入れる。そうして収集された地域資料や県立図書館が作成したデータは、市町立図書館の地域資料収集への強力な支援となる。	2
⑤	子ども図書研究室の児童書の全点収集・保存は、貴重な蔵書コレクションであるばかりでなく、市町立図書館の選書や児童図書館員研修を支援する役割も担っているため、コレクションのさらなる充実に努める。また、静岡県総合教育センターの学校図書館支援活動と連携することにより、学校図書館支援にも資するようにする。	2, 3
⑥	財政状況が厳しさを増している中、資料の分担収集・分担保存を提案、組織することにより全県的な資料費の効率的な運用に資する。またデポジットライブラリー的な役割を果たすことで、県全体での資料保存能力を高め質ともともに蔵書レベルを引き上げる。	2, 3
⑦	現在、県立図書館と市町立図書館を結ぶ磁力車が走っているが、この先、県立図書館の資料・情報提供業務はさらに重要になると予想されるので、情報・物流システムのさらなる高度化を目指す。	3
⑧	研修講師が務まるレベルの職員を確保・育成し、職員研修や人事交流を行って、市町立図書館職員の専門性向上を支援する。	3
⑨	公共図書館の使命や理念について、県内各地に出向いて積極的に普及に努める。	4
⑩	来館者への直接サービスを主要任務とする市町立図書館の評価は、入館者数や貸出冊数が中心となるが、上記の業務(①～⑨)を中心とする県立図書館についてはその指標で計ることはできないので、独自の評価指標を策定し、県立図書館固有の役割を点検し、改善に努める。	1, 2, 3, 4

＜提言「資料」からの抜粋引用＞

- ◆静岡県立中央図書館資料費の推移から（静岡県の図書館より） 平成24年度資料費は67,014千円。  
平成8年度からの17年間で、平成11年度の64,076千円に次ぐ2番目に低い水準、平成13年度から22年度まで9千万台を維持、平成13年度・96,404千円をピークに減額が続いている。
- ◆静岡県民一人当たりの蔵書冊数（日本の図書館2013より）  
静岡県は全国で41番・一人当たり0.20158冊、全国1番は鳥取県で1.711冊
- ◆県立中央図書館の竣工年（日本の図書館2013より）  
静岡県は1969年で8番目に古い。最新は山梨県で2012年



藤枝市立図書館は利用登録数・利用者数・貸出冊数とも増加している！

藤枝市立図書館は毎年、「図書館業務概要」を発行しています。このほど平成25年度版を入手しましたので、図書館活動の実態を示すいくつかの指標を紹介します。

過去2年間と比較してみました。

区分 年度	利用登録者数 (うち新規)	同左・市外 合計(%)	年間実利用者数 (対前年比較)	年間延べ 利用者数	年間 貸出冊数	市民1人当 貸出冊数
平成25年度	114,795 (3,801)	13,561 (11.8)	25,197 (+4,655)	292,484	1,059,097	7.2
平成24年度	110,994 (3,822)	12,574 (11.3)	20,542 (△144)	285,356	1,037,498	7.1
平成23年度	107,172 (3,900)	11,057 (10.3)	20,686 (△4,282)	287,670	1,030,245	7.1

※「市民1人当貸出冊数」は、「年間貸出冊数」を年度末人口で割ってだした数字。

※蔵書冊数は、25年度・520,110、24年度・500,522、23年度・477,046。年度ごとに増加しています。

### 平成25年度 市立図書館・サービス指標

静岡県立中央図書館が年1回発行している「静岡県の図書館」平成26年度版から抜粋引用しました。

「平均」は、全市立図書館の数値の合計を全市の奉仕人口で割って算出したもの。

	1人当資料費 決算額(円)	1000人当り 蔵書冊数(冊)	1000人当り 受入図書(冊)	1000人当り 貸出冊数(冊)	専任職員1人当 奉仕人口(人)
御前崎市	562 (23市中1位)	7,473 (1位)	330 (1位)	11,465 (1位)	5,712 (2位)
藤枝市	283 (23市中7位)	3,398 (15位)	133 (12位)	6,945 (8位)	14,646 (18位)
全市平均	220	3,408	122	5,907	11,775

## <2015年総会記念講演・講師/草谷桂子氏(児童文学者)> 演題/「絵本で楽しむ図書館の魅力」

### <草谷氏のプロフィール>



家庭文庫「巴文庫」を主宰して34年。日本児童文学者協会、童話創作グループ「かしの木」所属。

主な著作は「白いブラウスの秘密」「青い目のお客さん」(偕成社)、「さびしい時間のとなり」(ポプラ社)、「こどもと大人の絵本の時間」(学陽書房)、「絵本で楽しむ孫育て」(大月書店)、「3・11を心に刻むブックガイド」「絵本は語る・はじまりは図書館から」(子どもの未来社)、「プレゼントはたからもの」「おきゃくさんはいませんか?」「ぼくはよわむし?」(大月書店)など。

図書館づくりの市民運動の分野でも指導的な役割を果し、静岡県中央図書館協議会委員を務め、現在、静岡県図書館交流会実行委員、静岡図書館友の会運営委員を務める。

日時：2015年3月8日(日)14時～15時30分

会場：藤枝市立駅南図書館・3階集会室

**編集後記** 藤枝市への提言・話し合いは、友の会の大切な活動の一つです。山梨副市長が真摯に対応していただき、感謝します。

市の直営堅持、「教育日本一」めざす拠点施設との表明を頼もしく感じました。

会のもう一つの柱・リサイクル市が終了しました。読み終えた本を再度、市民の皆さまに読んで頂くとの役目は果たせたのでは。(H・K)

### 藤枝・図書館友の会ニュース第21号

2014年11月発行

メールアドレス <http://tosyokantomonokai.web.fc2.com>

キーワード「藤枝図書館友の会」で検索してください。

<連絡先> 〒426-0044 藤枝市大東町304-3・桑原英實  
電話・FAX054-635-0122